

令和7年度

めぬま

熊谷市立妻沼小学校

交流体験



第5学年

特色

- ワイルドナイツスポーツプロモーション所属、日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟の大塚貴之選手をお招きして、人権講話及びデフラグビー体験を行った。児童は事前に総合的な学習の時間「障害について理解を深める」で、デフリンピックについて調べ聴覚障害について学習した。事後に体育「タグラグビー」で、チームで意見を尊重し合い、互いのよさや違いを活かした作戦を立てるなど、大塚選手から学んだコミュニケーションの大切さを実践した。

児童の感想

- 声が届かないと思いを伝えることが難しく、自分の考えが伝わっているのかとても心配で不安になった。
- 表情や動作から相手の考えが伝わってきた。デフラグビーでは貴重な体験ができてよかった。

成果

- 互いにコミュニケーションを取り合い、仲間との思いやりや協力の気持ち、相手を認め尊重する心や態度が児童一人一人に見ることができた。一連の学習を通して他者との豊かな関係を築き互いの相違を認め合い行動できる人権感覚の育成につながった。